

# 県要連 だより

2003/8 No.13

発行日 2003年(平成15年)8月31日

発行所 〒720-0843

福山市赤坂町赤坂 1229-5

広島県要約筆記サークル連絡会議事務局

TEL 084-951-0756 FAX 兼用

発行人 大竹市要約筆記サークル「ふたば」

## 「ふたば」HISTORY

私たちの「ふたば」は、平成6年に結成されました。  
「おりづる」の方々が中心になって講座が開かれ、その  
修了生が、社協と共に「ふたば」  
を興したと聞いています。  
今回は「ふたば」のこれまでの主な歴史を振り返ってみ  
たいと思います。

平成11年

「要約筆記ボランティア養成講座」再開。

平成12年

広島県要約筆記関係者研究大会を西部(廿日市・大  
野・大竹)で受ける。

平成13年

ホワイトボード作り開始

平成14年

大竹市が「要約筆記奉仕員派遣事業」

「要約筆記奉仕員養成講座」開始。

12名の修了生誕生。



ホワイトボード作り

注文は「ふたばHP」までどうぞ。



平成15年

市が「音声入力要約筆記支援システム」購入

7月12日デビュー

大竹中学校「平和学習映画」の字幕付け

今年は7月の12日のあと、9月に3つの講演会が入っ  
ています。

「要約筆記支援システム」で対応予定。

興味ある方はどうぞ。

「講演会」「イベント」の要約筆記依頼に加え、「ヤングボ  
ランティアスクール」、  
秋の福祉祭りで「体験ボランティア」、そして、「ホワイトボ  
ード作り」や「字幕作り」……

少しずつ市民の皆さんにも「ふたば」の活動が見えてきて、  
依頼も多岐にわたってきました。

「未来の可能性に向かって伸びていく」という願いから生ま  
れた「ふたば」。

これからもたくさんの方々との出会いを大切にして、メンバ  
ーみんなで伸びていきたいと思っています。

## 「ふたば」9月の日程より

9/6(土) 講座 14時~16時

9/27(土) 講座 14時~16時

### 市民文化講演会のご案内

アゼリアホール(19時~20時30分)

9/6(土) 絵門 裕子

「がんと一緒にゆっくりと」

9/10(水)クロード・チャリ、リチャード・チャリ

「音楽・言葉・そして地球人」

9/24(水)清水章吾

「山谷越えて、夫婦円満への道のり」

入場券は大竹市公共機関にて

1500円で販売中。

(Telでの問い合わせはできません)

中途失聴・難聴関係新刊図書の紹介

「中途失聴者と難聴者の世界」山口 利勝著 一橋出版

定価 1400円+税金

## 音声入力要約筆記システムの取り組み

### 音声入力ってどんなもの

パソコンの音声入力機能は年々進んできており、文字への変換率が向上してきました。まず、一人の要約筆記者が OHP に書き込む代わりに、話しを要約してマイクに話し掛けます。PC 上で文字に変換されたものをもう一人が誤字の訂正と文章の整形を液晶タブレット上タッチペンで行い、要約文をスクリーンへ投影します。

### 「ふたば」での取り組み

全要研での発表事例を聞き、早速ディーラーに講習会をお願いし、機器をお借りして実際に講演会の要約筆記にチャレンジしました。2001.8.27.大竹市文化講演会を皮切りに延べ5回の講演会で実施しました、その間、無償で機器を提供してくださった Big Voice 渡辺さんには本当にお世話になりました。市で購入していただきたいと、関係者をお願いし、今年6月によやく念願がかない、自前の機器での取り組みが可能になりました。

広島県下初ということで、先日、中国新聞の取材を受けました。今後は要約筆記の強力な道具として、活用をすすめていく予定です。



### 音声入力システムの特徴

#### <手書き OHP との違い>

作業負担の軽減 - 2 人で 3 時間にも及ぶ講演会の要約筆記をこなした実績もあります。

綺麗な文字文章表示 - OHP では、焦ると字が読みにくくなるのが悩みの種でした。文章の区切りや体裁も読みやすい表示ができます。

#### <PCキーボード入力との違い>

高速キーボード入力技能不要 - 私たちのような小さいサークルでは高速キーボード入力はとても難しいです。

要約のし易さ - 聞きながらの音声入力は慣れが必要ですが、キーボード入力よりずっと楽にできます。

スクロールの仕方 - 3 行ずつで少し停止します。

#### <欠点>

表示がワンテンポ遅れる - 2 人の作業が終わって表示されます。難聴者の意見では支障は少ないとのことでした。

狭い会場では入力音声邪魔 - 入力の音声結構気になります。衝立や別室で作業し音声を遮ることが必要となります。

### 実践での課題

音声入力での要約技術 - いかに上手く要約するかが大切です。

会場や目的による使い分け - 会場の規模や目的によりノートイク、OHP、PC 要約筆記との使い分けが必要です。

認識率の向上 - 現在90%程度の認識率ですが、何度も使用していく事で認識率は向上してきます。

修正技術の向上 - 表示の読み易さは修正技術で決まります。

\* 詳細は、ふたば HP「資料室」をご参照下さい。

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Hanamizuki/9838/>

## 初挑戦！字幕上映

「私たちに出来るかな？ 無理かな？

でもやってみたい！！」

そんな思いから始まった。

それは、大竹市の中学校での平和学習のためのアニメーション映画の字幕付けだった。

神野さんのホームページ、

( <http://hp.vector.co.jp/authors/VA006163/> ) から「パソコンを利用した字幕上映の運用」を参考にとにかく行動あるのみ！

7月10日 大竹中学校より平和学習映画への字幕付けの依頼あり。

7月18日 やっと届いたビデオテープをダビング、担当人数分に分割。

7月19日 会場下見・字幕挿入テスト。

〔7月23日迄〕 各自テープ起こし。

( 足音や風の音など擬音を  
入れるのが難し〜い！！！！ )

〔7月30日迄〕 起こした文章の要約・整形。

( 短い台詞が多かったので今回はラッキー - ! )

7月26日 要約字幕の試写

〔8月1日迄〕 コマンドの埋め込み・字幕送出システムの準備

( パソコンを使いこなせる者が少ないので  
一人の肩にズッシリとかかってしまった。  
ゴメンナサ〜イ！ )

8月2日 ビデオと字幕を合わせて  
確認・修正作業

8月3日 送出練習 ( 写真 )



( 練習してみるとああが良、こうが良いと修正箇所がいろいろと出てきて結局1度しか、通し練習が出来なかった。

擬音ばかりで構成されている場面は映像に擬音を合わせるのが難しい。

何だか不安・・・本番まで中、1日あるので各自テープを持ち帰り練習。)

8月4日 機材の準備 ( 写真 )

( 会場に行ってセッティング。今回は字幕を写す長さ5メートルものスクリーン作成。

なんと、ふたばのメンバーが縫ったのです。

スバラシイ！ 皆で感激、よくここまで来たなア〜。

明日大丈夫かな？ 何だか緊張！ )



8月5日 いよいよ本番！

( 場内が暗くなりいよいよ始まる。キ - ボードを押す指先が緊張で冷たくなり、心臓はバコバコと音を立てる。滑り出しは順調！ アッ字幕が先に出すぎてしまった・・・

心臓が音を立てる。

落ち着け！ 落ち着け！ 何とか順調に進ん

でいく。一人30分の担当時間があっという間に感じた。クライマックスには私たちも感動して胸が熱くなってきた。よくここまで来たな・・・

今までやってきたことが走馬灯のように廻っていく。物語が終わりキャスティングが流れる。場内はザワザワしてくる。でも、私たちの仕事はスクリーンに「おわり」の文字が出るまでだ。場内が明るくなり私たちもやっと一息！！ )

初めての字幕付けが終わった。

練習時間がもっともっと欲しかった。

擬音の付け方を統一すればよかった。

一人一人がもっとパソコンを使いこなせるようにならなくては・・・

課題は沢山有るけど、新たな一歩を踏み出した「ふたば」です。





# ヤングボランティアスクール

ふたば担当:8月11日 13:00~15:00



大竹市社会福祉協議会主催の「ヤングボランティアスクール」(2日間の中高生、学生向けボランティア体験プログラム)のひとつを、ふたばが受け持ちました。聴覚障害者や要約筆記について知ってもらい、理解を深めてもらうために、難聴体験、寸劇、聴覚障害のあるメンバーの体験談、グループでの意見交流などを盛り込んで計画しました。

当日の参加メンバー 10 人。参加生徒が 37 人、その真剣な眼差しに励まされつつ、あっという間の 2 時間でした。昨年度養成講座を終了した新メンバーも、準備段階から加わり実践的な体験ができました。この秋からの養成講座が楽しみです。

## 参加した中高生の感想

今日、要約筆記というものがあることを知りました。実際に私も、耳の不自由な人は話するのが困難なんだと勝手に思い込んでいました。でも今日学習してみて、要約筆記の大切さ、勇気を持つことの大切さを知りました。耳がどれだけ大事な体の一部か、そして耳でどれだけの情報を取り入れて生活しているのかを改めて考えさせられました。もし劇でもあったように電車内、町中で話しかけられたいしたら初めはとまどうと思います。でも、勇気を持って、教えてあげられるようにしたいです。とてもいい勉強になりました。



「ろうあ」と呼ばれる方と「中途失聴」、「難聴」と呼ばれる方とは、聞こえない、聞こえにくいというのと同じでも、全く違うんだと思います。見ただけでは、健常者と同じで気がつきませんが、私たちが聴力に頼り、聞こえることが当たり前前だと思っているので、今日改めて聴力の大切さを知りました。音や自分の声が聞こえないという不安は、すごく大きいと思うけど「書く」ことで、その音を伝えられるのはすごいと思います。本当に伝えたいと思えば、ペンや紙がなくても伝えられるんだと思います。聞こえなくなつたことで、また新しい出会い、信頼できる人ができたそうなので、本当によか



## メンバーのひとこと

- 中学生相手に自分の体験を話したのは初めてです。あれで良かったでしょうか？(良かった！良かった！)
- 準備がよく、スムーズでした。よく協力し合えました。
- 子どもたちの真剣な眼差しが突き刺さるようでした。
- 終わってほっとしました。
- 「君たちもメンバーになれる！」としっかり伝えたい。

ふたばの難聴者からの話を聞いて私も難聴で左耳がまったく聞こえないので、失敗したり、くしゃかったことは何回かあります。私も右耳がいつ聞こえなくなるか、とても不安です。でも今日の活動で、ふたばの人たちが楽しそうだったので、少し安心しました。耳がぜんぜん聞こえないということは分らないけど、今日のお話を聞いたり、みんなの意見を聞いたりして、聴覚障害者のことも少し分かりました。みんなが助け合えるといいと思います。電車の中などにもいろいろ工夫して、聴覚障害者でも安心して利用できるようなればいいと思いました。「ふたば」のみなさんも、これからもがんばってください。

要約筆記者とともに活動して、

難聴者の立場から...

私が失聴して3ヶ月たったころ、ごく当たり前のようにサントピアに手話を習いに行きました。聞こえない＝手話だと思ったからです。そこで出会ったのが「ふたば」のメンバーの1人でした。ちょうど福祉祭りも近いころで、「ホワイトボードを作るから来ないか」と笑顔で誘われました。

まだ、落ち込みから立ち直れないでいた私は、その笑顔に吸い込まれるようにホワイトボード作りに行きました。次から次へと文字にしてその場の会話を伝えてくれたこと、私のいるところには文字があり、私とは直接話していない事も文字で分かり、その場にいても違和感がなかったことが印象に残っています。

「ふたば」では雑談を含めいろんな話し合いの中でも、難聴者への理解と、「まずは中途失聴・難聴者を知ること」の姿勢を大切にしています。

私自身「ふたば」にいることのメリットや、意味を実感できたり、聞こえなくてもできることや、可能性を広げてくれるのもこうした活動からです。

そして難聴者が、講座の準備の段階から共に活動することで、要約筆記のことがよくわかります。

利用者として、言葉にはならないけれど、要約筆記者との呼吸が感じられます。

このたび「ふたば」では字幕付けもしましたが、まさか利用者の私が要約担当になるとは...思いも及びませんでした。できることは遠慮なく言ってくるのが「ふたば」です。これで要約筆記者のご苦勞を身をもって知ることができました。失聴して2年になりますが、こうした「場の共有」は私にとって、とてもうれしいことです。健聴者はおそらくコミュニケーション障害と言え、一番困るのは病院や公共機関だと思われるようですが、中途失聴・難聴者の多くは普段の生活の中で、突然絶たれてしまった「場の共有」という、お互いが気付きにくいところに寂しさを感じているのではないのでしょうか？

「ふたば」会員 難聴者

## 各サークルの最近の活動&9月の日程

### 呉市要約筆記サークル「灯だい」さん 8月の行事より

渡辺 安広

8月2日、定例会を終えての夕方、難聴者を交えて15名、飲み放題をメインとした納涼会を行いました。

(会場はビューポートくれ11F、昨年の県要研大会、交流会会場)

暑さもありグラスはすぐ空になり、それと共に口の回転も速くなります。仲間として共に歩み、苦樂も味わったと思いますが、出るのは過去の各大会での思い出話が多く出ます。又要約筆記を始めなければ経験できなかった話ばかりです。時に男性は持病の話と少し話題のそれる時もありますが、難聴者への情報保障も自然に行われ「灯だい」の成長に思いがいきます。

今回は3歳の女兒が参加。座を和ませてくれました。今日は女性のみのデザートつきですが、男性陣よりははるかに良く飲む女性が多い「灯だい」には合わないサービスですが。(私も欲しい)

帰りは丁度花火大会の近く、橋の上より観賞。女兒の笑顔で無事締めくくることができました。7月に予定としていたものの4～5名の都合がつかず、この日になったのですが天気にも恵まれ、花火も見られ、日常とは少し離れた日を過ごせ、心もリフレッシュ「灯だい」としても記憶に残る日となりました。

## 各サークルの行事日程より



### 感動の、養成講座修了証書授与式！！



## 府中市要約筆記サークル「伝書鳩」

### 養成講座の日程のお知らせ

9月5日～10月26日です。

9月5日、12日、19日、26日、28日

10月3日、4日・5日、10日、17日、24日、26日

全 11回(26時間です)

大変ですが、ガンバります！！

## 沼隈町要約筆記サークル「ひまわり」

### 9月の定例会

9月11日(木) PM 7:30～9:00

9月27日(土) AM 10:00～12:00

難聴者とのかわりを大切にしながら、  
地道に歩んでいます。

### 難聴者との交流の楽しいひととき



## 東広島市要約筆記サークル「花たば」

### 9月の行事

8月2日で養成講座が終了します。9月からは新しい会員も加わり、  
定例会の学習もスタートします。

手書き・パソコンに共通する内容の「要約力」(聴く力・まとめる力・予想する力)を  
身に付ける学習方法のため、図書館通いの学習係です。紙面で報告出きる日を  
楽しみにしててください。

7・8月と行政主催の講演会や大学の集中講義が続き9月は小休止。

月末からは研修会や大会・健康福祉祭りや秋の行事が目白押しです。  
体調を整えて臨みたいです。

文責 内山 和美

## 呉市要約筆記サークル「灯だい」

今年度の予定にバス旅行を計画していましたが、  
宮島遊覧観光(サークル員の知人の主人が船主)を計画しました。

9月6日(土) 8時45分 呉出発(車)

午前中 宮島大鳥居、海上より眺望(30分)

午後 宮島観光

秋の多忙を控え早めに計画をしました。

## 広島市要約筆記サークル「おりづる」

### 9月の行事予定(主なもの)

広島市要約筆記奉仕員養成講座開催中

9/13 手書きコース 13:30～

広島市心身障害者福祉センター

9/27 パソコンコース 13:30～

西区地域福祉センター

安芸たかた要約筆記奉仕員養成講座開催中

9/27 第1期最終日 14:00～

向原町ひとは福祉会

安芸区ボランティア大学

要約筆記ボランティア養成講座

9/26 初日 10:00～

安芸区総合福祉センター

広島市 IT 講習会 要約筆記担当

9/2～9/30 全4回 13:00～

広島市東部障害者デイサービスセンター

盲ろう者向け通訳介助者養成講座

要約筆記担当中

9/6, 13, 20 10:00～

広島市心身障害者福祉センター

## 編集後記

あっという間に夏休みも終わりに近づいてきました。

気候不順で体調を崩したりという話も聞きましたが、皆さんいかがでした？

夏休みが始まると同時に「県要連だより」の準備を始めた「ふたば」ですが、  
皆さまのご協力でなんとか形になりました。

お手元に届くころには涼風が吹いているでしょうか？

それとも残暑厳しい？かも...(H)